大根占町報
第22号
発行所　大根占町役場
電話　大根占1番
編集兼発行人　宮里軍吉
印刷所　鹿屋市曽田町6647
南日本新聞社鹿屋支社
電話88・98・126番

◇みんなのしあわせの為にどうぞ今年も！

◇赤い羽根＝共同募金運動＝にご協力ください

臨時農業基本調査

十月に準備調査実施＝

昭和三〇年の二月に臨時農業基本調査が実施されることになりました。この調査は昭和二十五年の一九五〇年世界農業センサス実施後五年目毎に行う農業センサスに代る大調査であります。

いうまでもなく昭和廿五年から三〇年に至るまでの期間はわが国の農村にとつては、重要な意義をもつ時期であります。終戦後間もなく実施された農地改革事業が一応終了し、その成果がいよ〳〵あがりつゝある時期です。また終戦後不足していた農業資材の出回りも豊富になり、農業生産力が高まり農業全般からみれば戦前の水準を越えた時期でもあります。一方農業機械の導入、特に耕転段階の機械化が著しく発達しつゝあることも特記しなければなりません。長く悩まされてきた食糧不足もこの時期に至つてようやく緩和しそのため農作物の作付においては商品作物の導入が増加すると共に、養蚕、家畜等も増加して來ています。あるいは又農地改革の結果耕地が細分化したため兼業の必要がます〳〵増加してきていることも注目されます。このように、いろ〳〵の意味からみて重要な時期でありますので、このさい、農業基本調査を実施しておくことは単に歴史的な意味があるばかりでなく農業の発展向上のために行う農業政策の樹立と実行上からも大切であると思われます。十月には町役場に委託して準備調査が行われるのでみなさまの御理解と御協力を切望します。（統計調査事務所）

本年産米價決定

基本米價 9120円

政府は九月二十日本年産米價を次の通り決定しました。

一、基本米價九千百二十円（石当）（三等、包装代を含まず一俵当三千六百四十八円）

【解説】

パリティ計算による石当七五〇円（二十八年七二四五円）に特別加算七五〇円（二十八年四三〇円）供出奨励金八〇〇円（前年度）を加え九一二〇円（前年八五〇〇円）とした。

◎早場米奨励金

石当（）は一俵当

九月二十日まで　二、〇〇〇円（八〇〇円）

九月末日まで　一、二〇〇円（四八〇円）

十月十五日まで　六〇〇円（二四〇円）

十一月一日まで　三〇〇円（一二〇円）

十一月末日まで　二〇〇円（八〇円）

◎超過供出奨励金

一、二八〇円（五一二円）

包装代一七五円（七〇円）

△二十八年産米の追加払はパリティ指数の上昇分石当二〇五円（一俵当八二円）を支払う。

△本年産米の集荷目標二六〇〇万石内義務供出分二一〇〇万石とする。

◎参考

農業調体は一二、五〇〇円米價を主張して反対してきたが、その根拠となった全国指導農協連調べによる本年産米生産費調査の結果は次の通りである。

調査市町村数　四百二十八戸

平均経営耕地　一町一反五畝

平均米作面積　八反二畝

収穫反収　二石二斗七升

反当費用

肥料、農薬、展い労賃等現金支出　六、四三一円

農具、建物等減價償却費　一、六六九円

二、四四八円

自給費材費

土地、その他固定資本及び流動資本の利子　四、四四四円

自家労力費　一六、七一一円

計　三一、九〇三円

畳米石当　一二、四九二円

所要労力　三二、二七

直接労働　二二、八七

間接労働　五、七二

雇傭労力　三、四〇

牛馬借入　〇、二八

一日当労賃　五九二円

（製造工業労務者）

◎決定米價による一日労働報酬は二六一円となる（農作物の生産費は面積が少くなるにつれて高くつく）

町議会だより

九月二十二日開会の町議会の議決事項をお知らせいたします。

議案第五八号　町道厚ケ瀧線の改良工事の一部を請負契約締結の件原案可決

六〇号　昭和二十九年度大根占港修築費町負担金について総額二百七十六万円負担に決定

六十一号議案　部落道大尾線を町道に編入方の件土木委員会で実地を調査すること

六十二号　白井部落より橋梁材として町有立木特賣方の件可決

六十三号　高等学校授業料を本年度分の一部助成の件可決

六四号　国有払下地四林班の山の手入れに必要な部分の伐採方可決

六十五号　農業用施設災害復旧工事として岩元地区外五地区を町営で施工することに可決

六六号　岩元奥地林道を鹿児島縣よりの委託により町工事として施工方受託の件可決

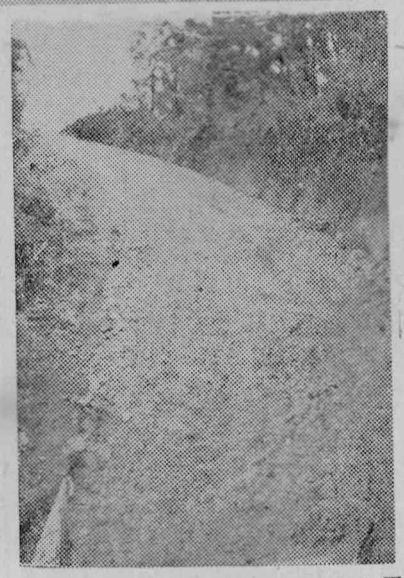
六七号　岩元林道工事地元負担金として四十万円起債の件可決、塩屋海岸堤災害復事業費として四十万円起債の件可決

六九号議案　二十九年度第一回追加更正予算は原案可決となつたが追加総額二千九百四万四千余円で支出の歳別増額を示せば議会費二六万円、役場費百五万九千円、土木費一千六百三十五万円、教育費八十万七千円、産業経済費四百七十二万五千円、財産費五百六十一万円、議会費三万円、公債費三十五万円、諸支出金百二十四万七千円となり或は厚生費消防費の十九万九千円、社会労働施設費の百十万一千円となつている。これに対し各委員から活発な質疑があつたが追加補助金の支出については最も慎重に取扱い、実績などよく調査し年度末に決定するよう厳重な警告がなされた。

尚議案外として町有林誤伐申出について町長より報告が出されたが何等の結論を得なかつた。（以上）

中央線高尾間　道路改良近く完成

本年度道路整備計画のトップを切つて中央線より高尾間（延長二、四〇〇米）の改良工事に着工していましたが、数度の台風襲來にも拘らずその一部は去る九月廿三日完工しました。幸い工事現場附近に岩石が多く敷砂利も二〇糎内外を散布したので、すつかり固まつたら立派な自動車道路として充分の機能を果すことゝ思われます。



（写真下　完成した高尾附近）

奥林道　岩元線起工式

七月の町報でお知らせした奥地林道岩元線は愈々着工の運びとなり九月二十八日大尾の現場起点で田島縣林務部長、永田地方事務所長、工藤営林署長、縣林産課長、立岡縣議、町議会等関係者地元民多数参列して盛大にその起工式が挙行されました。

この林道は延長五、〇〇〇米の五ケ年継続縣営工事を本町で委託を受けて本年延長九七六米三〇〇万円の工費を以て施行するもので、完成後は林産物の搬出は勿論、吾平高山に通ずる交通路としても重要なものとなるので期待されています。

（写真上　その起工式）

氣象概況

（鹿児島地方季節予報）

鹿児島地方氣象台

＝十月概況＝

移動性高気圧と低気圧は週期的に現われる見込で天気も週期的に変るが、上旬半は頃から中旬始めにかけて稍大きく崩れ、中旬半頃から前線帯は南下して、稍安定した秋型の天気となる見込です。

気温は月平均としては並ですが前半は稍高く後半は稍低くなり特に下旬は低い日もあつて所によつては初霜の恐れがあります。月平均としては平年並か稍々低いでしよう。雨量は平年並の見込です。

＝十一月概況＝

大陸の高気圧は次第に発達して中旬半頃から時々冬型の気圧配置が現われる見込ですが上旬頃季節風のはしりが起るかも知れません。特に下旬末頃は季節風が強くなる可能性があります。天気は一般に変り易いが中旬は安定する傾向があり下旬は低気圧が発達して一時雨が多くなりましよう。気温は変動が大きく中旬半頃と月末は低くなり特に月末は冬らしくなりましよう。月平均としては平年並か稍々低いでしよう。雨量は平年並の見込です。

台風は上旬始めと旬末及び下旬始め頃南方海上に現われる見込ですが本邦に接近するかどうか判りません。

値年平平及予想

	気温			雨量			日照	
	予想		平年値	予想		平年値	予想	平年値
10月	並	前半は稍々高く後半は稍々低く	度 19・0	並		ミリ 123・2	並	時 190.5
11月	並	又は稍々低く	13・7	並		91・9	並稍	又は少々 166・6

大根占町の郷土史（第三回）

堂地　統

三、國造時代概觀（奈良朝以前）

大和を中心とする中央朝廷の勢力は四方に伸び、原始小国家は次第に統合せられたが、西海の辟地南九州まで其の力が伸びて來たのは第十二代景行天皇の頃と解せらる。即ち御父子三代にわたる熊襲平定はこれを物語るものである。熊襲服属後は地方の豪族を国造、縣主に任命して施政の任に当らしめたが地方制度は未だ確立するに到らず、皇室の御代に大化の改新が断行され史上劃期的一大轉換を見たのであるが、それでも大隅薩摩の地は政令行われず特別な行政区域として待遇せられたのである。奈良時代に及び国造は廃止され国司を置かれた。

◎古代日向国と大隅

日向国は現在宮崎縣の地域を指しているが奈良朝以前に於ては、大隅薩摩の地域を含めて日向と呼んだのである。即ち景行天皇の十七年春三月熊襲本定の途次子湯縣（宮崎縣子湯郡）に幸し給ひこの地を日向国と名づけ給うたのである。大隅国が分れたのはそれより六二六年後第四十三代元明天皇の和銅六年四月の事である。此年日向国の中肝杯郡を大隅始羅の四郡を割きて大隅国を置かれたのである。大隅の語源について薩隅日地理纂考の所論によると『此地日向国の西南の片隅なればなり。隅とは稜ある物を内より呼の称にて』とある。其の中大隅郡の境域は、大隅風土記及び和名抄によると串良吾平地方であり肝杯郡は大隅半島の南部地方にあたる。和名抄によれば肝杯郡内に桑原、鷹屋、川上、鷹巣の四郷を收めている。桑原と鷹巣は詳かでないが鷹屋は内之浦町高屋神社の地と考えられ、川上は大根占町の河上神社の附近と言われている。故に本町は大隅国肝杯町川上郷という事になるが本町の地名が文献に現れたのはこれが最初であり、この地に鎮守の社として河上神社が創建された事は誠に意義深い事と思う。

◎古墳文化と大隅国

肝属川の中流より下流にわたる流域一帯には厖大なる古墳群が現存し隼人文化財の指定となつている即ち東串良町唐仁古墳群高山町塚崎花牟礼古墳群がそれである。これ等の古墳は志布志湾沿岸の大崎志布志更に北上して宮崎縣西都原本庄古墳群と一連のものと見る事が出來る。就中唐仁の大塚には長さ二百八十四米高さ十米九十糎の見事な前方後円墳があり一重の濠をめぐらし埴輪も装置されていたと傳えられる。この古墳を中心として百三十二基の古墳群が散在し其の規模の厖大なるに唯驚歎するのみである。かゝる古墳群は縣下に於てはこの地方のみにして辟遠の地といえども中央におとらない優秀なる文化が開発され、中央との文化交流も密接であつた事を物語るものである。かゝる皇陵にも匹敵する程の墳墓を造営し得る者は当地方の豪族でなければならぬ其の点より大隅国造一族の墳墓であろうと推測されるのである。即ち大隅隼人の首領であり大隅第一の名族大隅直と関係深きものと思われる。さて大隅南部は肝杯郡に属し肝衝難波と称する豪族あり、内之浦佐多田代根占大根占地方の山岳地帯に覇を唱えていた。其の本拠は詳かでないが地名より推論して佐多町郡の附近かと考えられる続日本紀文武天皇四年の條に肝衝難波等が反乱を起した事件があるが即ち中央政府の権力は南九州の地に及び熊襲又は隼人の平定となつた。後其の勢力は種子、屋久、奄美大島、沖縄等南島の経営まで発展したが、第四十二代文武天皇の慶代宮国使が南島に派遣され、轉じて大隅薩摩の南端まで巡視するに到つたものと思われる。この時薩摩南端の豪族衣君と大隅南端の土豪肝衝難波とは共にこれを心よしとせず肥人を使えて竜国使たる刑部眞木等を劫刼したので同四年六月兵を志願領をして之を討せられた。肥人の事は詳でないが隼人と異なる人かと思われる。この様な狀態であるが故に肝杯の山丘地帯に於ては大隅中央部の文化圏とは相当へだたつて居たものと推察されるのである。遺物遺跡の少い点も注目されるが、たゞ大根占町大久保よりかめ棺の出土が傳えられているが未だ確認していない。

◎和銅開珎

当時の経済取引は穀物や織物による物々交換であつたが近畿に於ては市も設定されていた。中国に於てはすでに貨幣経済に移行して元明天皇の和銅元年（西紀七〇八年）武蔵国で銅が発見されたので初めて青銅と銀とを以て和同開珎という銭を鋳た。山口縣長府や武蔵国秩父からは当時の鋳型まで発見された。然し当時の人々は貨幣の使用になれず政府は色々の奬励法を作つて其の流通を促進したが都を中心として畿内でわかなり使用された。其の後平安時代の中期にかけて十二種の青銅銭が作られた。

写真は本町で発見された和銅開珎（二二四六年前）で辟遠の地にもわずかながら流通した事を示すものである。

◎お米の供出・保有・配給のもとゝなる世帯人員は11月1日現在で確定します。異動のある方は10月中に必ず手続をすませましよう（経済課）

10月の行事

◎赤い羽根共同募金運動

△校区別青年團研修会

1日　池田　2日　神川

4日　大根占

△煙草收納

1日　大尾　宮脇　上之宇都

2日　牧原　上之宇都

3日　命苦　神川中

4日　馬場2　川北

5日　戈原　川北

6日　宿利原　瀬戸山2

△地区別座談会（大根占農協）

2日鳥浜　4日宿利原

6日池田　7日大根占

△堆肥増産品評会

11日―15日

△肝属郡畜産品評会

17日18日

△水陸稻増收競作会審査

中下旬

◎光一個が二円六十一銭
ピースは三円九十銭
の町税収入となる＝たばこは町内の店で買いましょう!!

なぜ＝貯金をするのでしょう？

経済自立は農業資金の蓄積から

大根占農協参事　別府熊男

※何故貯金をするのでしょう？金詰りの爲に皆さんの生活は益々苦しくなりました。だが皆さんは苦しい生活の爲に

◉前もつて心構えをきめて居られますか

◉物と金の用意は出來ていますか

農協が今年の四月から八月まで五ケ月間で皆さんに賣つた肥料代は約一千万円です。皆さん方が買われた肥料は凡そ二倍以上だと思います。これでは吾々の農協ということが言えるでしょうか。肥料代とかその他の借金や利息、税金など私共農家が支払つている金は大したものです。それよりかも今では農協に生活資金を借りに來られる方も大変増えて來ましたが、本当にこれから先、私達農家はどういう風に心掛けたら良いのでしょう。大根占の街の商店に田舎から出入りする方が段々少なくなりました。もつと〳〵農家の優良合も良くなつて商店の品物も賣れて発展出來ないものかと思います。

『働けど働けど吾がくらし楽にならざりじつと手を見る』の言葉通り借金を持つものは利子払のために働いているようなものであります。借りる事は人様の世話になる事ですが、いつまでも〳〵他人の世話にならないと暮しが立たないでは誠に残念なことです。一日でも早く一人立ち出來る農家になりたいものです。『借りるな、貸すな』を方針として、皆さんに借りない様に……肥料も以も貯金か現金でなるべく取る様に……その爲に貯金をして下さいと皆さんにお願いする組合の考え方は誤つているでしょうか。皆さんとしても、『今金詰りの世の中に作人が苦しまうたい貯金どんしがないもんかい』とか、『作人が肥料を借らんこつ行つもんか、肥料を貸せんよな組合をなよいかい』と良く言われます。成程苦しいくらしの農家が急に多額の貯金をしたり肥料を現金で買取ることは出來ません。だが世の中はどん〳〵移り変つています。農家だけが昔からの古いことを繰返し〳〵してゆくわけにはいきません。世の中の移り変りとか進む早さに負けない様にしないと農民だけが取残されて行きます。

去年の正月三七億あつた縣下農協の貯金が今年の正月は五二億円になり一年に十五億も増えて來年の正月は六五億位にはなるのではないかと言われて居ります。正組合員一人当りの平均貯金が三万円以上ある組合も普通になつて來つゝあります。おとなりの根占町も三万円以上です。大根占の農協は二万円足らずですからまだ〳〵私達の努力が足りません。農協の貯金の多い農家を視察しますと七反か八反の耕作者が年間三〇万円とか四〇万円の收入をあげ部落でオー居ります。

扨て皆さん、私共の其の日〳〵の暮しの内には古い習慣が残つて居て今の世の中から見れば無駄なことも多いのです。特に暮し方、金の使方には無駄が多くて切替えや改善が必要ですが難しい様でたやすくたやすい様で難しい事です。然し決心一つで頭の切替さえ出來れば出來ることですからお互に良く考えて此の際思い切つて無駄をなくす致しましょう。

＝次月号につゞく＝

◉組合人の言葉

一、肥料も生甘藷も約束で農協利用

一、出資も貯金もみんな競争で勝たう

ト三輪車を持ち個人で動力脱穀機を持ち蓄産を盛にやつたり又日曜には公民館で読書やピンポンをしたり映画をたのしんでいるのを見て全く羨しくなりました。大根占の農協も神川の農協も今こそ立上るべきときです。今皆さん方の農協を町全体のものとして役場も諸團体の方々まで非常に協力して頂けることになりました。農協が組合員当り三万円になれば組合が払つている金利だけでも百万円以上少くなり、肥料も安くて順調に販賣の前渡金も楽々と出來る様になります。親が金持になると子供に御馳走が与えられるのと同じ理屈です。そこまでなると世の中は和気と希望に溢れた明るい楽しいことだとつく〳〵思います。貯金をしてくれと言わなくとも農協に集つて來るところがそれを物語つて

ラミー

新植栽培の手引き

近年食糧事情の好轉に伴い各農家共何かと換金作物を取り入れたいと頭を悩して居らるゝ事と思います。が差当つて取入れられるものにラミーがあります。換金作物として農家経営にとり入れる條件としては大体左記事項を具備することが大事です。

一、その地方及畑に適したもの
二、比較的簡單に生産出來るもの
三、労働生産性の高いもの
四、價格の安定したもの
五、販賣が簡單に出來るもの
六、災害に対し抵抗性の強いもの
七、輸送労力を余り要しないもの

右七項についてラミーは大体その條件を具備して居りますので是非経営に取入れて貰いたいと思います。栽培要点については

一、地ならし（整地）

ラミー園は植付二年目になると株が茂つて耕しにくくなるので植付前に深く耕しておかねばなりません。またラミー栽培には有機物が特に大切でありますから耕す前反当三〜四百貫の堆肥か緑肥の様なものを深くすきこんでおけば植付後の成績がよいです。また植付ける土地が低地やくぼ地のような場合は雨水がたまつて根をくさらす場合がありますからこんな畑はさけるか又は水はけ溝を設ける。

二、苗の準備

繁殖には実生法取木法株分法などいろいろの方法がありますが最も普通に行われているのは吸枝繁殖法であります。即ち植え付後三〜四年を経過した無病健全な親株を選り抜してほふく茎（地下茎）をとる。この地下茎を吸枝と呼びこれを三〜五寸の長さに切取つて苗とする。牛糞堆から芽は出ませんから之が混らないように注意する。

三、植付の方法

植付時期は十一月（秋植）三月（春植）に植付けます。植付の間隔は密植すれば発育もよく植付た年の收量も増します。尚草取の手数が省けるので反当一万本内外畦巾一尺五寸株間五寸位に植付する。植付に当つては定められた間隔にやゝ深めに植え溝を設けこれに元肥を施しその上にうすく土をおゝい苗が直接肥料にふれないようにしその上に苗を斜において土をかぶせ軽くおさえて置きます。

以上新植の点だけ申し上げましたが以後の管理につきましては号を追つて記載致します。

◉苗の斡旋は農協で致しますので秋植春植の中希望される植付時期と作付面積を明示の上御申込下さい。

（大農協　吉原）

四番茶製造

本年始めての試みとして四番茶採製を行うことになりました。次の事項をかならず守つて下さい。

（一）四番茶を摘採する事によつて無肥料茶園は來年一番茶の收量が非常に少なくなるから十月上中旬迄畝当り硫安一貫匁過石七〇〇匁重化加里四〇〇匁施す事。しかし自給肥料堆肥人尿等で充分であるから右の成分に合うだけ施す事

（二）摘採が非常にまち〳〵であり製品も悪くなりますから木経が混入しない様とくに四番摘採は浅刈を行う様に注意し下さい。來年に影響致します。

（三）來年から無肥料園と無肥園との差別を行う。これはきうしなければいつまでも肥料が行われないと思われるからです。

（四）期間　十月上旬四日間位行う予定。

（経済課）

校区別畜産品評会

本年度の畜産品評会は二十日池田校区、二十一日宿利原、二十四日神川校区で開かれましたが、昨年に比べてずいぶん質はよくなりつゝあると云われましたが、出品頭数が少く淋しく感ぜられました。來年からはもつと多くの出品があるよう希望します。

重な成績は次の通りでした。

（牝牛のみ数字は等級）

池田校区

（当才）①馬込国夫　②半下石廣　③馬込廣志

（二才）①馬込啓助

（三才）①牧原新蔵③安水英二

①半下石光夫②半下石清宗③押領司才蔵（繁殖牛）①馬込国夫②白井芳竹③安水敏雅

宿利原校区

（当才）①牧原伊兵衛②命苦宇助③永吉ウメ

（二才）①永吉フク②福元勝助③黒瀬八男③黒瀬慶

（三才牛）①米満祐吉②中馬金蔵③中野与敏（繁殖牛）①牧原豊彦②笑喜好之③笑喜義治③牧原幸夫

神川校区

（当才）①中俣道夫②皆倉俊夫③永アグリ

（二才）①東元栄吉②永田政治③今隈暢夫③湯之口真夫

（三才）①蔵防厚実②中村清道③内田義彦③修永十助（繁殖牛）①秋元清治②有村哲三③湯之口真夫③内田豊市③宮脇良夫③本原喜太郎

10月のラヂオ番組

◉NHK鹿児島放送局

△第一放送（前七、一五—三〇）

12日　職人と生活の合理化
19日　今年の供米について
26日　新卒業生の就職について

△第一放送（前五、三〇—四五）

8日　秋肥の使い方
10日　甘藷の收穫について
15日　麦の品種のえらび方
22日　農作物の温室栽培について
24日　新しい供米制度
29日　葉煙草と肥料
31日　竹林の伐採と手入れ

△第一放送（前六、三〇—四五）

9日　農家の副業カマスについて
10日　山羊緬羊の繁殖について
16日　始めて養鶏をする人へ
17日　多の切花のつくり方

△第一放送（前七、一五—三〇）

11日　農協だより
12日　亜麻の栽培について
13日　農繁期の食事の工夫
16日　魚肉ソーセージについて
17日　週間農業気象予報
18日　農協だより
19日　小作料決定の土地調査について
20日　狩猟解禁について
23日　漁業資金の借入について
24日　週間農業気象予報
25日　農協だより
26日　直播菜種はおくれぬように
27日　早掘たけのこのすゝめ
31日　週間農業気象予報

◉ラヂオ南日本

△明けゆく農村（前六、一五—三〇）

8日　秋植造林のすゝめ
11日　家畜の寄生虫をなくしよう
12日　お茶の生産と販賣
15日　私の促成胡瓜の作り方
18日　これからの蔬菜
20日　籾磯について
22日　今年の供米について
25日　普及員だより
29日　11月の農事暦

△こぞんじですか七、一五—三〇

14日　最近の経済のはなし
15日　牛乳をのみましよう
20日　共同募金運動について
25日　結核予防週間にちなんで
28日　新卒者の就職問題
29日　水産金融と漁業基金制度
30日　農産物の検査について

農業技術講座　菜種の栽培（2）

播種から收穫まで

菜種を栽培する場合には先ず栽培方法、栽培面積の割合、労力配分等の計画が必要であります。特に菜種には移植と直播法とがあるので何れかを宜敷の栽培される面積節作、労力等色々の條件を考えてよい方法を計画的に栽培方法の取入れが大切だと考えます。移植法及直播方法を述べまして宜敷が最良の方法をとられるよう願います。移植法方法を先ず考えて見ますと、生れ地より育つことと云うことをお聞きになられたことがあるでしょう。移植法ではすでに宜敷は良い品種とよい種子ということを條件に枝揃いの甲種合格の種子を選ばれていることでしょうよい種子をどんなところで育てたらよいだろうか。先ず育ちどころは朝晩よく見られる範囲の処で排水、通風、日当りのよい場所で地力のある土地を選んで苗床を作りますが、前年菜種を栽培した跡や十字科の蔬菜作跡地は病害の関係上選ばぬ方がよい。苗床の面積は苗の養成方法や本圃植付株数によつてちがいますが仮植法では五坪以上とし後三十坪以上に仮植する。無仮植法では三十坪乃至四十坪を必要とします。苗床が狭いと密播となり日光の照射風通しが十分でなく徒長腐高の生育力のない苗が出來ます苗半作と云うことを思い出して下さい。播種法には條播点播散播がありますが無仮植の場合手播する時は五〜六寸幅の板を以て溝を切り苗をつけ五〜六寸に一点五〜六粒宛に点播する。貧地播品を利用する場合は別砂一升と種子を混合して播すれば良い。播種が済んだら覆土して敏で鎮圧しておきます。発芽しやすい土壌二粒宛位播種し必ず一回間引間引の時期は葉数五枚位に成長した苗の部分の二回目、点播の場合は一株二本立、本葉三〜四枚頃第二回目は本葉七枚位に成長した苗の部分の三回目、点播の場合は一株一本立、本葉三〜四枚頃第二回目は本葉七枚位に成長した苗の部分の三回目、点播の場合は一株一本立、本葉三〜四枚頃第二回目は本葉七枚位に成長した苗の部分の三回目、点播の場合は一株一本立、本葉三〜四枚頃

の都度駆除を行います。尚アブラムシ駆除にはニツカリンTやデツプ剤が効果があります。但し使用についてはよく使い方の指導を受けて下さい。斯様にして良い苗が十枚位の葉を付けたら本圃に植付けを始めます。植付けに当つては畑の準備ですが畑や乾田では夏作物收穫後石灰窒反当十五〜位撒布しすぐ耕起してうねを作ります。植付はまでよゆうのある時は予め石灰を施して耕起しておき植付前に二番耕を行つて土を砕く、整地の良否は菜種の生育收量に大きく影響するので出來る丈ていねいにすることが必要です。肥料は菜種栽培の為は特に必要であります。肥料は菜種の為は特に必要であります。肥料は菜種の為は特に必要であります。肥料は菜種